



東四つ木在宅サービス センターだより

2012年10月

社会福祉法人厚生福祉会
東四つ木在宅サービスセンター
所長 遠藤 康弘
電話 5670-3531



すっかり秋らしくなった今日この頃、利用者の皆さんにおかれましては如何お過ごしでしょうか。今年も残すところあと3カ月となりました。10月は運動会、11月は作品展、12月は忘年会との先も行事が盛り沢山となっております。職員一同皆さんに喜んで頂けるよう張り切って参りますので、どうぞお楽しみに！！

行事報告

納涼会



8月8日から14日まで納涼会が開催されました。今年度は恒例の大学生による和太鼓演奏、フラダンス等に加え、新たにヒーローショー、チアダンス、クラリネット演奏など5つの団体をお招きし、例年以上に賑やか且つ新鮮な納涼会となりました。



まずは威勢よくスイカ割りで開幕。上手く割れたでしょうか。



葛飾区のご当地ヒーロー『ゼロング』も応援に駆けつけてくれました。



素敵な奥様方によるAKBダンス。利用者の皆さんも元気を貰いました。



最後は全員で和太鼓を演奏。『東四つ木出陣太鼓』バッチリ決まりましたね！



非核平和祈念のつどいに参加



利用者の皆さんが、活動中に折って下さった千羽鶴を、青戸平和記念公園に献架しました。

当日は代表2名の方と職員で非核平和祈念のつどいに参加しました。区の職員の方々に「ありがとうございます。」とお礼を言われ、少し照れくさそうなお二人でしたが、「来てよかったね。」と、とても満足なご様子でした。





利用者紹介



塚目 傳さん

このコーナーでは、利用者の皆さん一人ひとりにスポットを当ててご紹介していきます。第一回は、いつも創作活動に精力的に参加してくださっている、『塚目 傳さん』です。

塚目さんは写真、俳句、ちぎり絵、裁縫など、多彩な分野に造詣が深く、いつもセンターの壁面は、塚目さんの素晴らしい作品の数々で彩られています。

そんな塚目さん、最近は切り絵に注力されています。11月の作品展が楽しみです。



写真家としての一面もある塚目さん。



辰年にちなんだ龍のちぎり絵



朝顔の切り絵

「センターに通いだして4年になりました。私は手が不自由ですが、これからもリハビリを兼ねて、どんどん新しいことに挑戦していきたいと考えています。

お体にハンデがある方も、男性も是非気軽に創作活動に参加してください。創作活動の場がこれまで以上に賑やかになっていくことを願っています。」



看護より

「毎日を同じように過ごす。」ということは、当たり前のように難しいことです。多数の臓器・約60兆もの細胞が上手く働くことで成り立っています。当センターでは、利用者の皆さんが健康を維持していただけますようにサポートさせていただきます。

看護師 田中 夏美

感染症の予防



感染症は一年を通して予防が必要であり、毎日の生活の中で習慣化していくことが大切です。

その基本となるのが、**手洗い・うがい**です。皆さんは一日に何回手を洗いますか？
また、いつ洗えばよいのでしょうか？

感染の大部分は、ウイルス・細菌などほとんどのものが、口から侵入します。
食事の前は勿論、外から帰ったら必ず手の清潔を保ってください！！



センターからのお願い

作品展の作品を募集いたします。

利用者の皆さんまたは、ご家族の作品を募集します。センターの作品展は、11月7日(水)～13日(火)に行います。昨年同様、沢山の作品をご紹介させて頂きたいので、是非奮ってご参加下さい。